

リーディングDXスクール事業【実践事例】

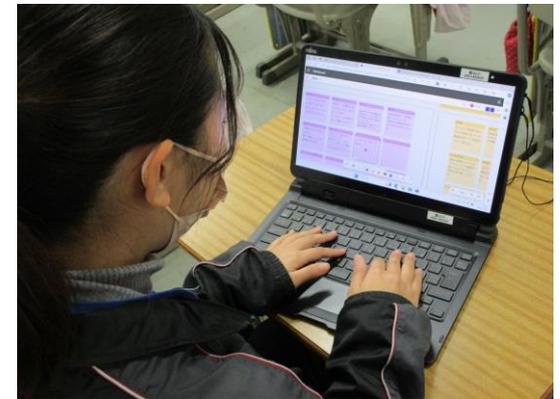
松山市立姫山小学校（愛媛県）

【取組内容④】「対話的・協働的な職員会議・教員研修」

主体的な学び				対話的な学			
<p>子どもたちがさまざまな方法（写真・実演・マップなど）で伝えていたことから伝えたい思いが伝わってきました。</p>	<p>子どもたちの伝えたい、知ってほしいという思いがよく伝わってきました。</p>	<p>身近なことを題材にしていたので、分からない言葉も自分なりに翻訳して伝えようとしていた。</p>	<p>ディクシャが話した言葉聞き取れなくても、粘り強く理解しようとする姿がすばらしかった。</p>	<p>発表しているときに助けを求める相手が先生ではなく、クラスの友達だったことがよかったです。</p>			
<p>一生懸命ディクシャ先生に姫山のよさを伝えようという意識をもって全員が取り組んでいたと思います。</p>		<p>外国語をつかって伝えたいという気持ちがあったためヘルプミーと助けをもとめることも、みんなで字ぼうという意欲を感じました。</p>	<p>help meのよびかけに、みんなが一生懸命に考えている姿勢がとてもよかったです。</p>				
<p>すぐにヒントや答えを尋ねず、自力自分たちの力で答えが導き出せるように日々練習しているのだと感じた。それが主体的な学びにつながっていると感じた。</p>			<p>ディクシャ先生の紹介し、質問を受けることで対話ができている。</p>	<p>発表をしている子どもたちが助け合いながらともに発表をしたり聞いたりしていることがよかったです。</p>			

ツール Whiteboard

- 研究授業を参観した後、各自の意見をWhiteboardに記入する。
- 研究協議の視点などでカードの色を決めておくと、話題がそろいやすい。



成果○・課題△・活用のポイント◇

- 職員会議や教員研修の話題や視点に合わせて、Whiteboardに用意されているテンプレートを選択することにより、話題を明確にしたり、意見の集約を容易にしたりすることができた。
- △ 会議・研修前の準備等に時間を要することがある。